SDGs新聞	株式会社コーセー
スキンケアの大切さを子どもたちに	

SDGsラジオを読んでみよう！

夏に外でスポーツをしていると、真っ黒に日やけしてしまうことってありますよね。
この日やけには、実は、皮膚がんや免疫力低下のリスクが潜んでいるんです。だからこそ、肌のケアは大切。
また、小さい頃から皮膚を健康に保つことは、アトピー性皮膚炎やアレルギーの予防にもつながります。
そこで化粧品会社のコーセーでは、幼稚園や保育園を訪れて、「幼少期からスキンケアをする大切さ」を伝える活動をしたり、
中学生や高校生をはじめ子どもたちに、「スポーツ前に日やけ止めを塗る重要性」を説明する講習会も行っています。
他にも、新生児から使える乳液など小さい頃から安心して使える化粧品を作っています。
今回のお話で、スキンケアに興味を持ったなら、もっと調べてみて、その大切さを周りの人にも伝えてください。
健康の輪を広げること。それもSDGsの達成に向けての立派なアクションなんですよ。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：コーセー公式サイトより

私たちが生きていくうえで、太陽の光は必要不可欠なもの。日光に当たると、健康に重要な栄養素であるビタミンDが生成されます。その必要量の多くは肌で生成されるため、全く日に当たらない生活を続けていると健康な骨を保つのが難しくなったりします。ただ、太陽の光に含まれる紫外線による日やけには、皮膚がん・免疫力低下などのリスクが潜んでいて、「健康」に悪影響を及ぼすおそれがあると言われています。そういったことから、日頃のお肌のケアはとても大切です。皮膚を健康に保つことは、アトピー性皮膚炎やアレルギーの予防にもつながるため、幼い頃からの紫外線対策・スキンケアは、決して早すぎることではないのです。

画像参照：赤ちゃんから使える乳液・商品イメージ
（コーセー公式HPより）

化粧品会社のコーセーでは、社員のみなさんが幼稚園や保育園を訪れて、「幼少期から紫外線対策・スキンケアをすることの大切さ」を伝える活動を行っています。また、中学生や高校生を対象に、「スポーツの前に日やけ止めを塗る重要性について」の講習会も実施。紫外線対策・スキンケアの必要性を説明し、正しい塗り方を指導しています。そのほか、コーセーでは紫外線対策・スキンケアだけでなく、赤ちゃんにも使用できる「雪肌精（せっきせい）」シリーズの乳液など、性別や年齢を問わず、誰もが安心して使える化粧品を発売しています。このような取り組みや商品を通じて、「健康の輪」を広げることもまた、SDGsの達成につながる重要なアクションのひとつなのです。

キーワード

ビタミンD

主に太陽の光を浴びることで摂取できる栄養素です。骨や歯を強くし、生活リズムを整える働きがあるとも言われています。

紫外線

太陽の光の一部で、地表に届くUVA,UVBの2種類が、皮膚に「日やけ」などの影響を及ぼします。

免疫力

体内で発生したがん細胞や外から侵入した細菌、ウイルスなどを撃退して、からだを守る力のことです。

対象ゴール

みなさんにできること！

紫外線対策・スキンケアの重要性を理解し、周りの人に伝えていきましょう。

おさらい

- 日やけには、皮膚がんや免疫力低下のリスクが潜んでいる。
- 皮膚を健康的に保つことは、将来のアトピー性皮膚炎やアレルギー予防につながる。
- コーセーでは「新生児から安心して使える乳液」も作っている。

メモ

SDGsラジオ